

25 ワニ類〈ワニ目〉

- ア 和名：メガネカイマン〈アリゲーター科、カイマン属〉
英名：Spectacled caiman
学名：*Caiman crocodilus*



【メガネカイマン】

(財) 東京動物園協会提供

- イ 和名：ナイルワニ〈クロコダイル科、クロコダイル属〉
英名：Nile crocodile
学名：*Crocodylus niloticus*



【ナイルワニ】

(財) 東京動物園協会提供

- ウ 和名：インドガビアル〈ガビアル科、ガビアル属〉
英名：Gharial
学名：*Gavialis gangeticus*

(1) 動物の特徴と同定

ア メガネカイマン

分布：メキシコ南部からアルゼンチン北部まで

特徴：体色は茶褐色で年をとるとやや黒っぽくなる。吻はやや短くて幅が広い。両目の前端をつなぐ隆条があり、眼鏡をかけたように見える。成体でも2.5mの小型のワニ。

全長：150～250cm

習性等：

- ・湖沼、湿地、川など岸辺に住み、エビやカニなどの甲殻類や魚、小型の哺乳類を食べている。

- ・4亜種、スリナムメガネカイマン (*Caiman crocodiles crocodiles*)、チュウベイメガネカイマン (*C. c. fuscus*)、アパボリスメガネカイマン (*C. c. apaporiensis*)、パラガイメガネカイマン (*C. c. yacare*) に分けられる。
- ・20～30個の卵を産む。

イ ナイルワニ

分布：砂漠地帯を除くアフリカ、マダガスカル

特徴：仔ワニは、黄褐色で背中から体側にかけて斜めの縞模様、尾には帯状の斑紋がある。成長すると体色は、暗褐色になり模様も不明瞭な斑点状になる。東南アジアのイリエワニ (*Crocodylus porosus*) に次いで大きくなるワニ。

全長：4～6m、最大 7m

習性等：

- ・大きな河川、湖、沼地などの岸辺で生活している。入り江などの汽水域にも入る。
- ・水を飲みにきたり、川を渡ったりしている大型の草食獣などを水中に引きずり込んで、溺死させる。顎は頑丈で、円錐形の鋭い歯がある。大きな獲物には、何頭かで群がって咬みつき、体を回転させて肉を引きちぎって食べる。
- ・イリエワニ同様人を襲うこともある。
- ・川岸や湖岸に穴を掘って、20～30個の卵を産む。親ワニは巣を守り、卵が孵化すると、仔ワニをくわえて水辺へ運び、数ヶ月間、保護する。仔ワニは昆虫、魚、カエルなどを食べる。
- ・飼育記録、43年9ヶ月。

ウ インドガビアル

分布：インド北部、バングラデシュ、ネパール、ブータン

特徴：体色は緑がかった灰褐色で、若い個体は背面と尾に黒褐色の縞模様がある吻が非常に細長く、上、下顎ともに細長い小さな歯がたくさん生えている。頭部は目の位置で急に広がるので、目がやや突出したように見える。成熟した雄の個体は、吻の先端部に壺状の瘤ができる。

全長：3～5.5m、最大 7m になる。

習性等：

- ・大きな河川の中流域で、比較的流速があって、水の澄んでいるような環境に生息し、中州などで日光浴をする。主に、魚を捕まえて食べている。
- ・岸辺の砂を掘って、長径が 8cm ほどの大きな卵を 40 個前後産む。
- ・生息環境の破壊などによって、数が減少しており、インド政府などによって保護されている。
- ・飼育記録、28年9ヶ月。

(2) 保定方法とマイクロチップの埋込み

ア 保定の方法

A 器具を使用しない保定法

50cm以下の個体であれば、まず頸部を押さえ、口輪をしてから片手で頸、他方の手で左右の後肢を持ち、床に押し付けて保定する。

B 器具を使用した保定法

大きな個体を保定する場合、キャッチャーポールで片方の前肢後方と頸部をたすきがけにして、ワニの大きさに合わせた細長い保定箱(前後および上の部分は開閉可能)に収容する。キャッチャーポールで保定を続け、口輪をする。

C 特に注意すべき事項

マイクロチップの埋込み処置は短時間で終了するため、原則的には麻酔は要らない。全て作業に当たり、保定者は皮手袋・ヘルメットを装着する。

D 麻酔法

大きく成長した個体では、筋肉麻酔（メedetミジン 100 μ g/kg+ケタミン 10mg/kg）を吹き矢で投与する。30～60分でマイクロチップ埋込みができるほどに不動化する。覚醒に際しては、保温パットを使用し、体温の低下に気をつける。拮抗薬であるアチパメゾール 500 μ g/kgを投与後も覚醒効果は顕著でないが、術後2時間ほどで正常の反応に戻る。

イ マイクロチップの埋込みの方法

A 埋込みの部位

頸鱗板（Nuchal cluster、頸部背面にある突起）の前の皮下（左側）

B マイクロチップ埋込みの実際

術部をイソジン綿か70%アルコール綿で消毒し、埋込み器の針を上記の皮下に穿刺しマイクロチップを埋込む。マイクロチップの脱落を防ぐために、皮膚の穿刺痕に外科用接着剤を塗布し、外用散剤を散布する。